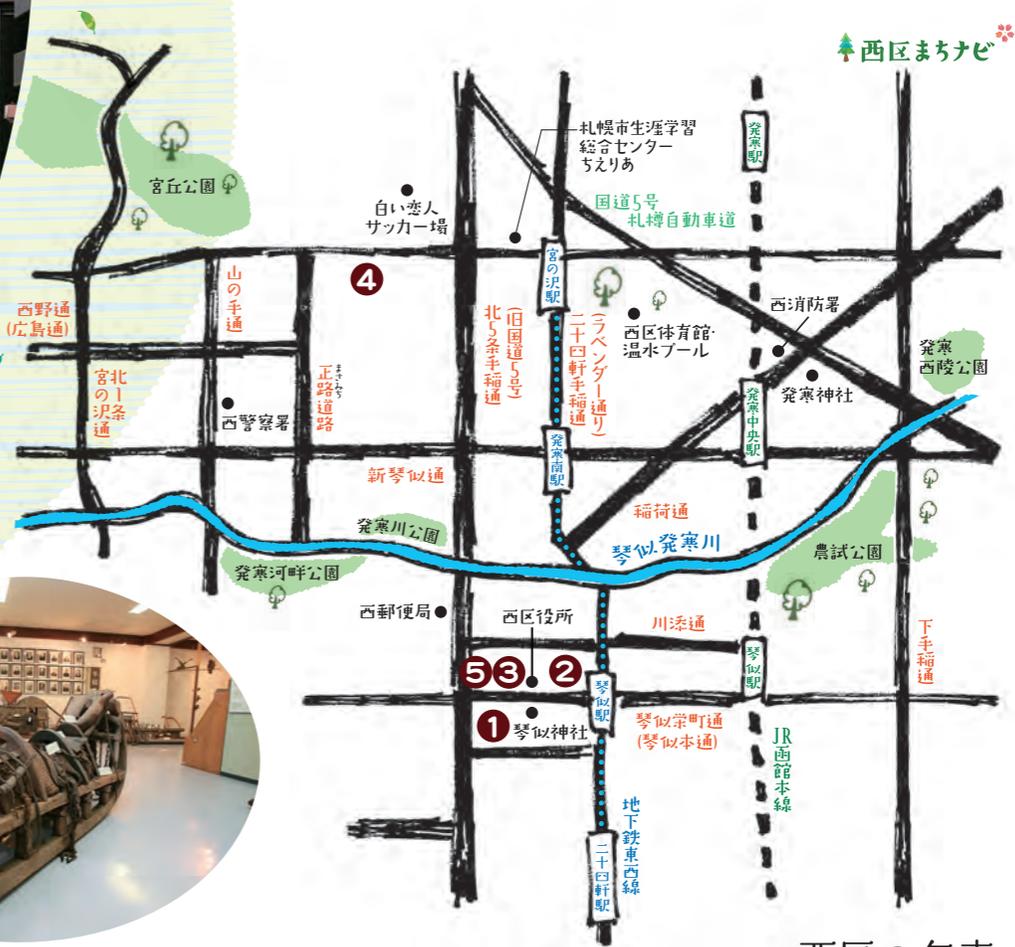
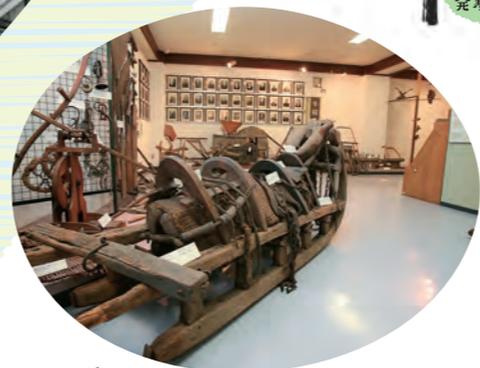


も開拓の歴史を つまちな

当時の開拓使次官(後の長官)黒田清隆の発案で発足した屯田兵制度により入植した屯田兵は、札幌本府の防衛および北方警備の兵役の一方で、琴似・発寒とその周辺の開墾に尽力し、今日の西区の基礎を築きました。区内には、その歴史を語る貴重な資料を目にすることができる記念館や資料室があるほか、開拓にまつわる数々の碑が残っています。

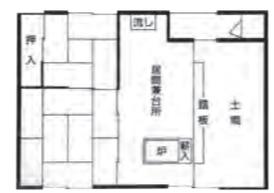


琴似・二十四軒地区

② 琴似屯田兵村兵屋跡

入植時の第133番兵屋が建っていた場所と全く同じ場所に、昭和47年(1972年)に改築・復元されたものです。土間、いろり、縁なしの畳、雨戸など、現在の北海道の住宅には見られない様式のほか、榎ぶきの屋根、戸外に設けられたトイレなど、造りも今日の住宅とは大きな違いが見られます。

- 📍 琴似2条5丁目
- ☎ 621-1988(警備員詰所)
- 🕒 9:00~17:00
- 🔥 年末年始



▲琴似屯田兵村兵屋跡の間取り図

琴似・二十四軒地区

① 琴似屯田兵屋

- 📍 琴似1条7丁目(琴似神社境内)
- ☎ 621-5544(琴似神社)
- 🕒 9:00~16:00
- 🔥 11月~5月初旬の冬期間



明治7年(1874年)に建てられた兵屋のうちの一つである第140番兵屋で、現在まで当時の原形を残す数少ない建物です。昭和38年(1963年)に、同じ屯田兵村敷地に位置する琴似神社へ寄贈され、翌年、現在の位置に移転されたものです。内部には貴重な生活用具なども展示されています。

琴似・二十四軒地区

③ 琴似屯田歴史館資料室

- 📍 琴似2条7丁目(琴似二十四軒まちづくりセンター2階)
- ☎ 614-8245
- 🕒 10:00~16:00
- 🔥 火・木・土・日曜日、祝日、年末年始



琴似に入植した屯田兵を中心とする人々の歴史を伝えるため、NPO法人札幌郷土文化推進センターが運営する、平成7年(1995年)に設置された資料室です。開拓当時の写真や、実際に屯田兵が使用していた装備品や農機具、生活用具など多くの資料を展示しています。

西町地区

④ 手稲記念館

旧手稲町(現在の手稲区と西区福井・平和・西野・西町・宮の沢付近)の開拓の歴史を伝えるため、昭和44年(1969年)に開設された施設です。大昔の土器や石器などの出土品から、開拓当時の農機具や生活用具、古文書など、数多くの資料を展示しています。

- 📍 西町南21丁目
- ☎ 661-1017
- 🕒 9:00~17:00
- 🔥 火・木・日曜日、祝日、年末年始



琴似・二十四軒地区

⑤ 屯田の森

現在の西区役所のある場所は、屯田兵の中隊本部が置かれていた場所で、その前には当時の面影をそのままとめた屯田の森が広がっています。この森には、屯田兵ゆかりの碑が5基建てられているほか、彫刻家奥山喜生氏の手によるモニュメント「開拓の鼓動」が設置され、人々の憩いの場となっています。

- 📍 琴似2条7丁目



西区の年表

- ~明治・大正
 - 安政4(1857年) 幕臣山岡精次郎、永田休蔵ら20人の武士と従者が発寒に移住
 - 明治4(1871年) 越後から森三吉ら5戸がベッカウス(現在の西野)に移住。開拓使が作った辛末一ノ(しんびいちの)村の50戸のうち44戸が八軒、十二軒(現在の中央区宮の森付近)、二十四軒に移住
 - 明治8(1875年) 最初の屯田兵198戸が琴似に移住
 - 明治37(1904年) 屯田兵制度廃止
 - 大正11(1922年) 札幌区が市制施行により札幌市となる
- 昭和
 - 昭和17(1942年) 琴似村が町制施行により琴似町(現在の北区新川・新琴似と西区琴似・二十四軒・山の手・八軒・発寒付近)となる
 - 昭和30(1955年) 札幌市と琴似町が合併
 - 昭和42(1967年) 札幌市と手稲町が合併
 - 昭和47(1972年) 区政施行(4月1日)により西区役所開設
 - 昭和51(1976年) 地下鉄東西線開業(琴似~白石)
 - 西区の人口が20万人を突破
 - 昭和61(1986年) 国鉄(現JR)発寒中央駅、発寒駅開業
- 平成
 - 平成元(1989年) 西区から手稲区が分区(11月6日)
 - 平成5(1993年) 北1条宮の沢通全面開通
 - 平成11(1999年) 地下鉄東西線延長部(琴似~宮の沢)開業
 - 平成14(2002年) 区制30周年記念事業実施